

## 2 尾張北東部地区

（瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町、大口町、扶桑町）

### 【地区の概況】

名古屋市の北東部に位置する尾張北東部地区は、高度成長期以降大規模な宅地開発などにより、名古屋市のベッドタウンとして発展してきました。入居から50年近く経過した高蔵寺ニュータウンなどでは、住民の高齢化が進み、再生に向けた様々な取組が進められています。一方で、名古屋市と豊田市の間に位置する長久手市や日進市では、子育て世代を中心に人口の流入が続いており、近年の大型商業施設の立地などにより、生活の利便性が向上しています。

多くの大学や官民の研究機関が集積しているほか、産業面では、瀬戸市を中心とした陶磁器産業に加え、北部の工作機械、次世代産業の柱と期待される航空宇宙関連産業の集積も進んでいます。

また、愛・地球博記念公園では「ジブリの大倉庫」、「青春の丘」、「どんどこ森」のジブリパーク3エリアが開園し、2023年度には「もののけの里」と「魔女の谷」の2つのエリアが続いてオープンする予定であり、国内外からの多くの集客が期待されます。



項目	数値	県内シェア
人口（2022年）	1,206,228	16.1%
面積（2020年）	526.10 km <sup>2</sup>	10.2%
人口密度	2,292.8 人/m <sup>2</sup>	—
農業（2020年）	124 億円	4.3%
工業（2019年）	44,830 億円	9.4%
商業（2015年） ※卸売業を除く	11,281 億円	13.3%

## 1 人口

尾張北東部地区の2020年の人口は1,211,094人（2010年比101.6%）、県内シェアは16.1%となっています。

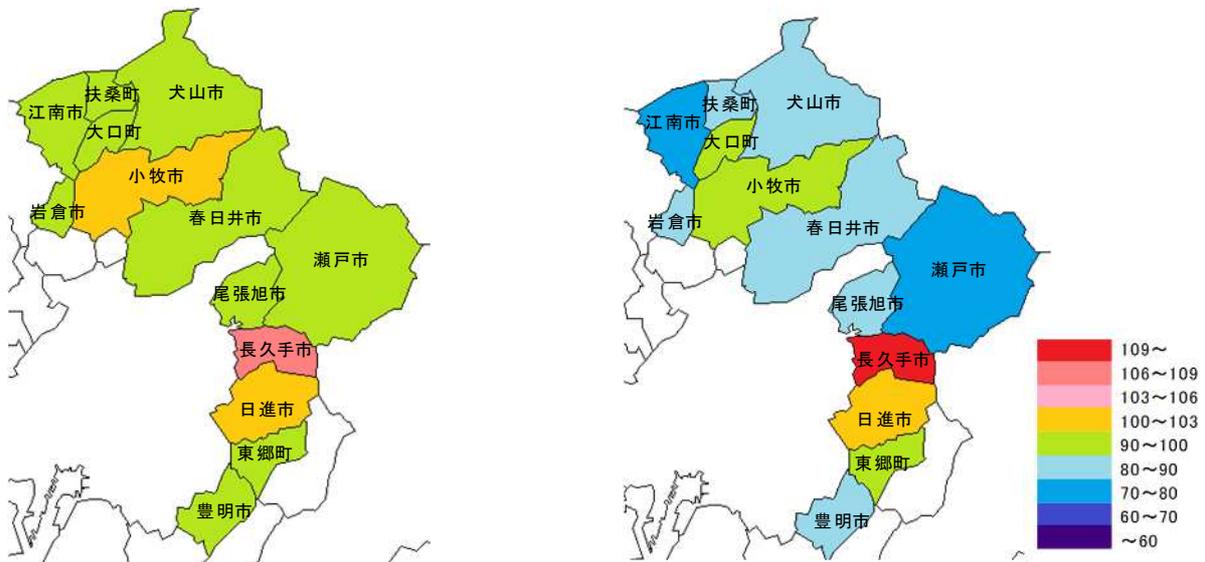
国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2045年の地区内の人口は1,064,865人（2020年比87.9%）に減少すると見込まれています。市町別に見ると、長久手市（同年比117.4%）、日進市（同年比102.8%）では、人口増加が続く一方で、瀬戸市（同年比74.7%）、江南市（同年比79.1%）等は人口減少率が高く見込まれています。

また、2045年時点の高齢化率は、2020年比で+9.4ポイントとなっており、県平均（+7.7ポイント）より増加幅が大きく、特に尾張旭市（+12.9ポイント）、瀬戸市（+10.8ポイント）で大きく上昇することが見込まれています。

### ■総人口の推移

◇2025年（2020年を100とした比較）

◇2045年（2020年を100とした比較）

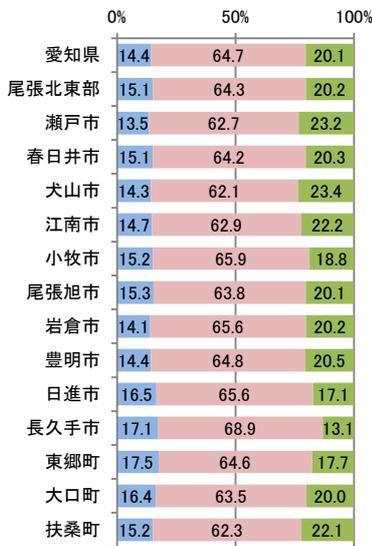


	総人口（人）					増減率	
	2010年	2015年	2020年	2025年	2045年	2020年→2025年	2020年→2045年
愛知県	7,410,719	7,483,128	7,542,415	7,455,615	6,899,465	98.8%	91.5%
尾張北東部	1,192,192	1,200,672	1,211,094	1,182,910	1,064,865	97.7%	87.9%
瀬戸市	132,224	129,046	127,792	119,610	95,490	93.6%	74.7%
春日井市	305,569	306,508	308,681	299,843	267,694	97.1%	86.7%
犬山市	75,198	74,308	73,090	70,851	59,945	96.9%	82.0%
江南市	99,730	98,359	98,255	92,961	77,705	94.6%	79.1%
小牧市	147,132	149,462	148,831	148,807	135,277	100.0%	90.9%
尾張旭市	81,140	80,787	83,144	78,348	68,573	94.2%	82.5%
岩倉市	47,340	47,562	47,983	46,744	42,255	97.4%	88.1%
豊明市	69,745	69,127	69,295	66,619	58,513	96.1%	84.4%
日進市	84,237	89,977	91,520	92,933	94,113	101.5%	102.8%
長久手市	52,022	57,598	60,162	65,514	70,660	108.9%	117.4%
東郷町	41,851	42,858	43,903	43,320	40,997	98.7%	93.4%
大口町	22,446	23,274	24,305	24,111	23,574	99.2%	97.0%
扶桑町	33,558	33,806	34,133	33,249	30,069	97.4%	88.1%

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」

■年齢三区分別人口割合

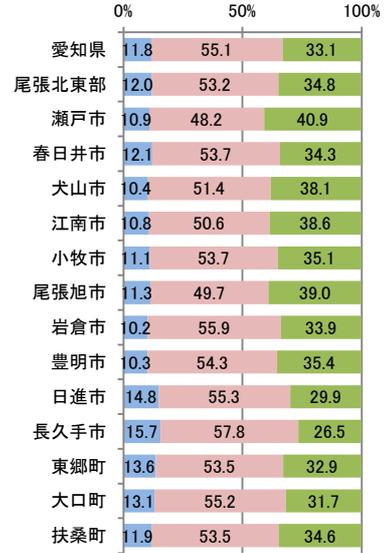
2010年



2020年



2045年



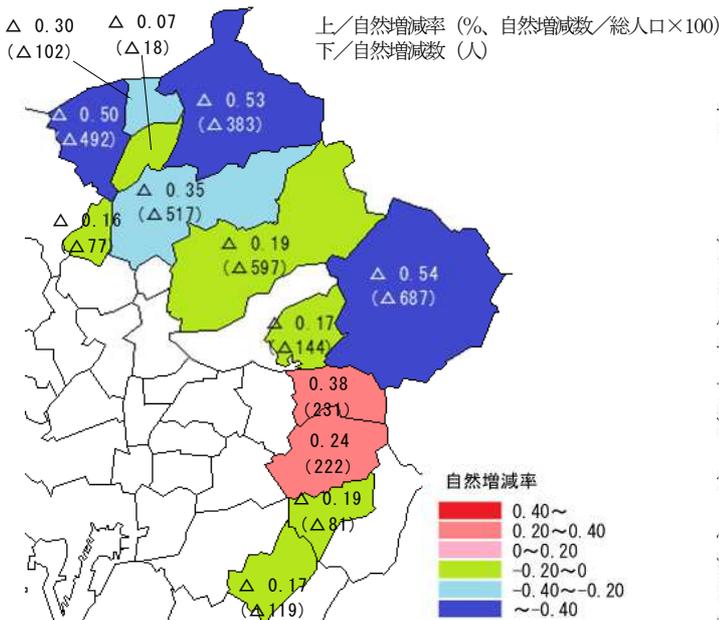
出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」

2 自然増減

尾張北東部地区の2021年の自然増減数は2,764人（-0.23%）の減少となっています。市町別に見ると、長久手市（+0.38%）、日進市（+0.24%）で増加となっている一方で、瀬戸市（-0.54%）、犬山市（-0.53%）で減少幅が大きくなっています。

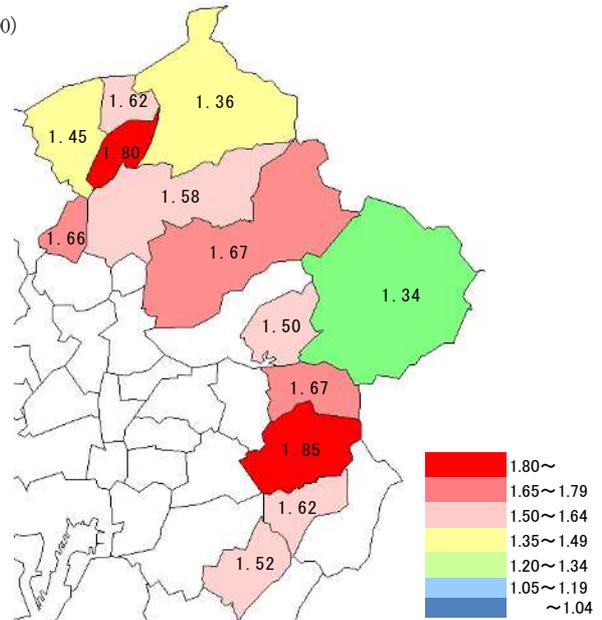
また、合計特殊出生率（2013～2017年）を市町別に見ると、日進市（1.85）、大口町（1.80）で高く、瀬戸市（1.34）、犬山市（1.36）で低くなっています。

■自然増減の状況（2021年）



出典：厚生労働省「人口動態統計」（2021年）、愛知県「あいちの人口」（2021年）から愛知県政策企画局作成

■合計特殊出生率（2013～2017年）



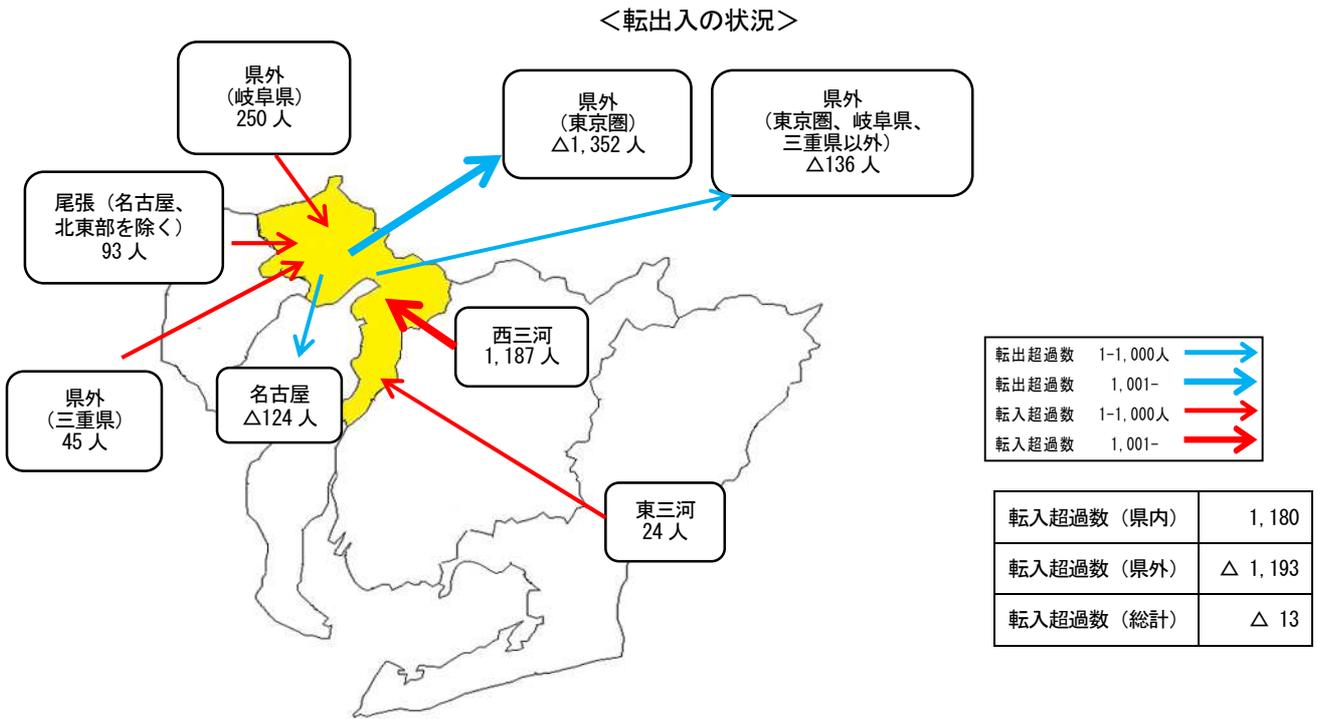
出典：厚生労働省「2013年～2017年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

### 3 転出入の状況

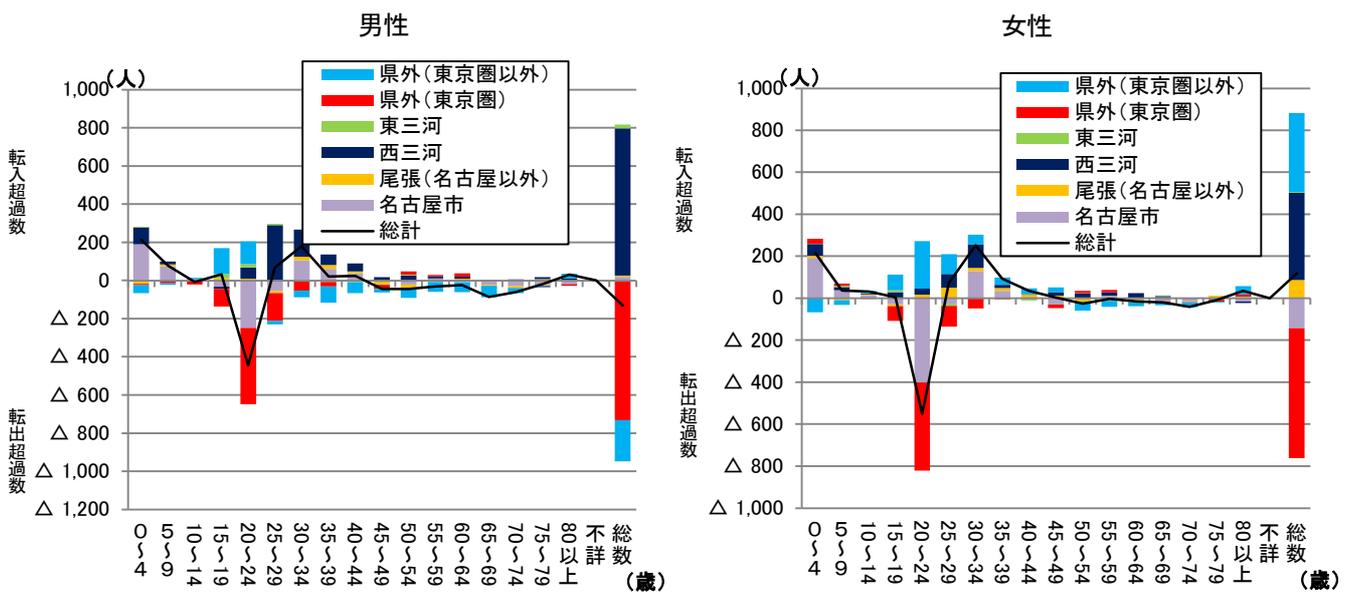
尾張北東部地区の2021年の転出入は、13人の転出超過となっています。名古屋及び県外（岐阜県、三重県以外）に対して転出超過となっています。

男女別に見ると、男女ともに20～24歳で転出超過となっている一方、25～44歳は転入超過となっています。男性では、特に西三河地区からの転入が多くなっています。

#### ■転出入の状況（2021年）



#### ＜5歳階級別純移動数＞



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」（2021年）



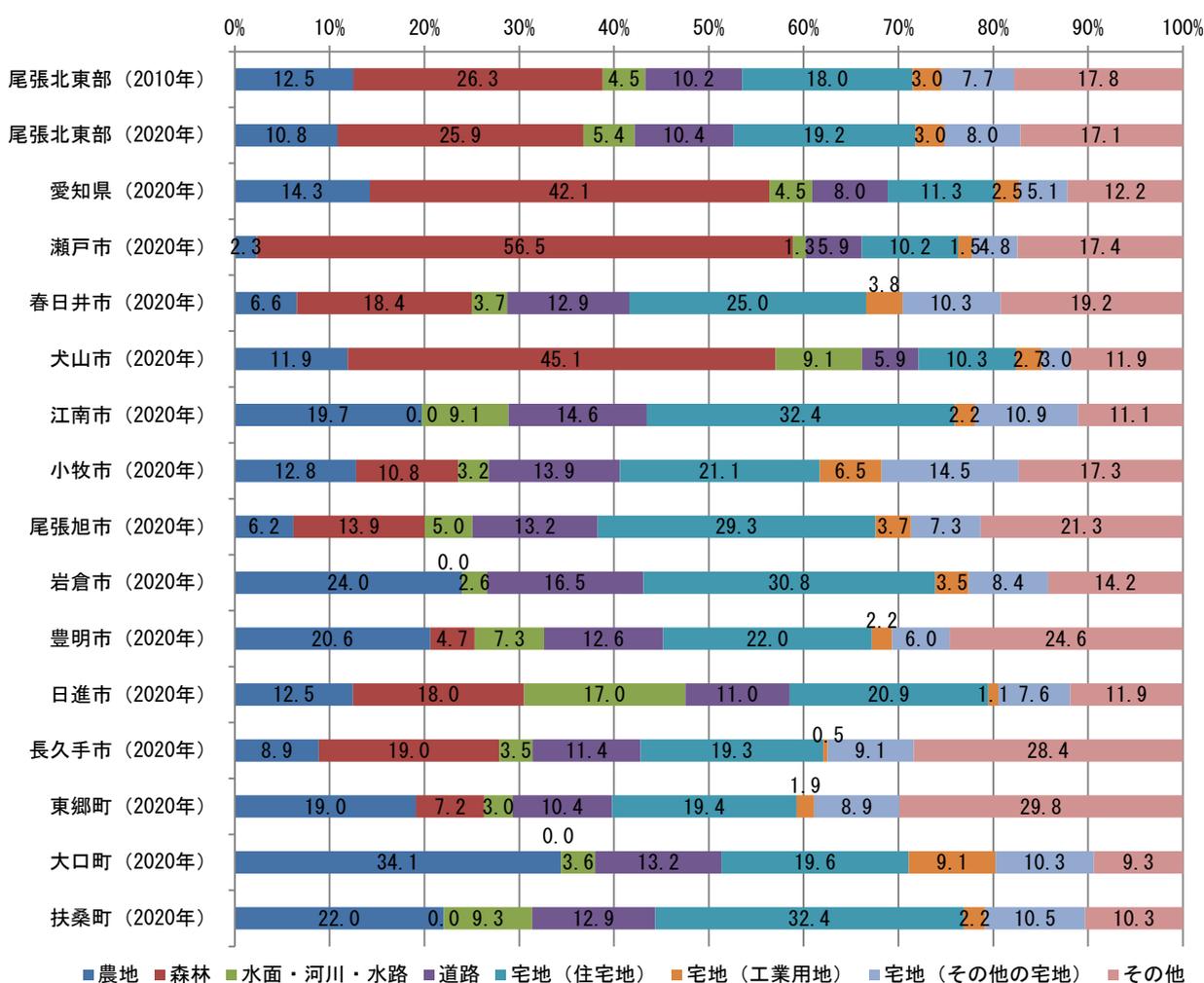
## 5 土地利用

尾張北東部地区の2020年の地目別土地利用状況を見ると、宅地30.2%、森林25.9%、農地10.8%等となっています。宅地の内訳は、住宅地が19.2%、工業用地が3.0%、その他の宅地（商業・業務用地等）が8.0%となっています。

県全体と比較すると、住宅地（+7.9ポイント）、その他の宅地（+2.9ポイント）の割合が高くなっています。また、2010年と比較すると、農地（-1.7ポイント）が減少する一方、住宅地（+1.2ポイント）が増加しています。

市町別に見ると、江南市と扶桑町は、住宅地の割合が高くなっています。また、瀬戸市と犬山市は、森林の割合がそれぞれ56.5%、45.1%と高く、大口町は、農地の割合が34.1%と高くなっています。

### ■土地利用の現況



出典：愛知県「土地に関する統計年報」

## 6 産業

### (1) 就業構造

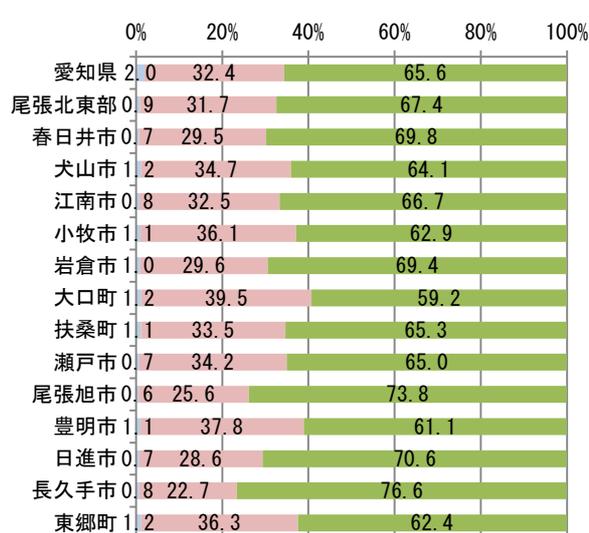
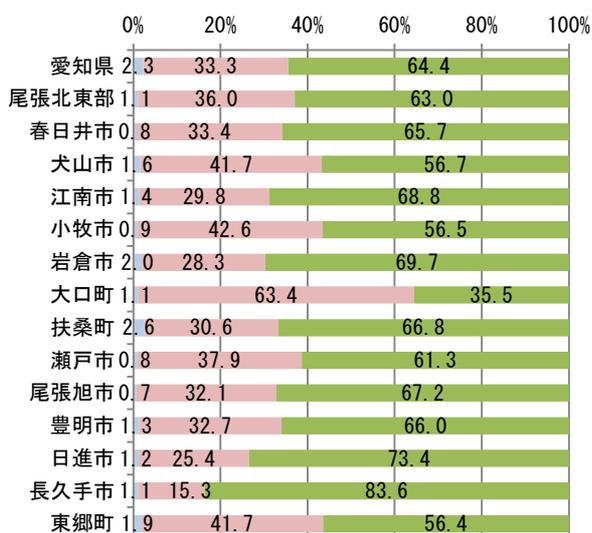
尾張北東部地区の2020年の就業構造を見ると、第1次産業従事者比率が0.9%（県：2.0%）、第2次産業従事者比率が31.7%（県：32.4%）、第3次産業従事者比率が67.4%（県：65.6%）であり、県平均と概ね同様の就業構造を有しています。2010年と比較すると、第1次産業従事者比率（-0.2ポイント）、第2次産業従事者比率（-4.3ポイント）の割合が低下し、第3次産業従事者比率（+4.4ポイント）が増加しています。

市町別に見ると、第2次産業従事者比率は、大口町（39.5%）、豊明市（37.8%）で高くなっています。このうち大口町では2010年から2020年にかけて2次産業の割合が大きく減少する一方で、3次産業の割合が大きく増加しています。また、第3次産業従事者比率は、長久手市（76.6%）、尾張旭市（73.8%）で高くなっています。

#### ■産業別従業者割合

2010年

2020年



出典：総務省「国勢調査」

■第1次産業比率 ■第2次産業比率 ■第3次産業比率

### (2) 農林水産業

尾張北東部地区の2020年の農業産出額は123.6億円であり、県内シェアは4.3%となっています。農業部門別では、鶏45.4億円、野菜28.2億円、米23.7億円などが多くなっています。

#### ■農業産出額（2020年）

市町村	農業産出額 (億円)	内訳 (上位3位) (億円)		
		鶏	野菜	米
尾張北東部	123.6	45.4	28.2	23.7
春日井市	9.1	米	野菜	果実
犬山市	7.0	米	果実	鶏
江南市	6.4	野菜	米	いも類
小牧市	51.2	鶏	米	果実
岩倉市	4.8	野菜	米	鶏
大口町	2.7	米	野菜	麦類、果実、他

市町村	農業産出額 (億円)	内訳 (上位3位) (億円)		
		野菜	米	いも類
扶桑町	8.1	7.6	0.4	0.1
瀬戸市	5.9	野菜	肉用牛	米
尾張旭市	1.7	2.3	1.2	1.0
豊明市	10.2	野菜	米	果実、工芸農作物
日進市	9.3	0.8	0.6	0.1
長久手市	2.2	米	鶏	花き
東郷町	5.0	2.1	2.0	1.9
		2.3	1.7	1.2
		米	野菜	果実、乳用牛
		0.8	0.6	0.6
		野菜	米	乳用牛
		2.2	1.9	0.4

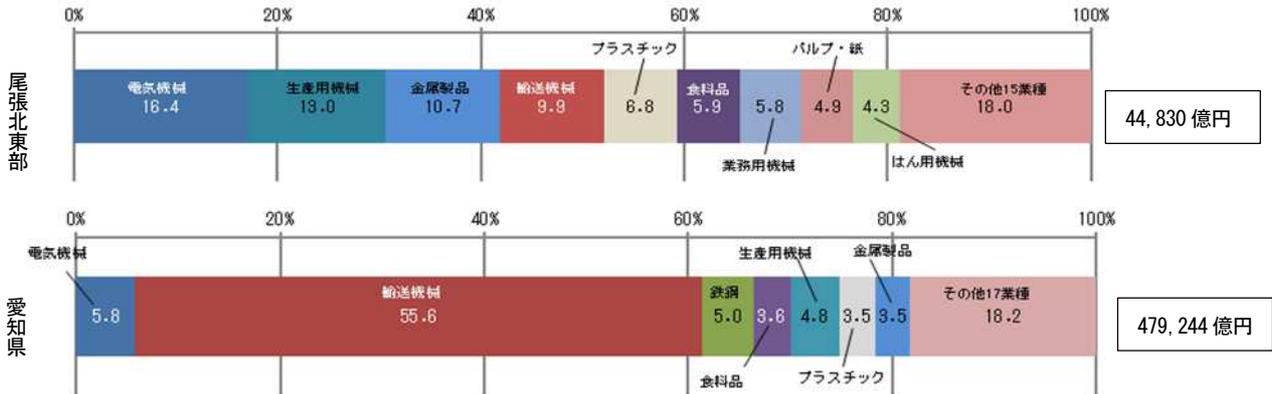
出典：農林水産省「令和2年市町村別農業産出額（推計）  
（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）」

（3）製造業

尾張北東部地区の2019年の製造品出荷額等は4兆4,830億円であり、県内シェアは9.4%となっています。産業中分類別の構成比を見ると、電気機械が16.4%、生産用機械が13.0%、金属製品が10.7%などとなっており、県全体と比較して、多様な業種構成となっています。

市町別に見ると、小牧市が1兆4,574億円で最も多く、次いで、春日井市が7,694億円、犬山市が4,878億円となっています。

■製造品出荷額等の産業中分類別構成比（2019年）



出典：経済産業省「工業統計調査」（2020年）

■市町別製造品出荷額等（2019年）

市町村	製造品出荷額等（億円）	従業者数（人）	事業所数（事業所）
愛知県	479,244	848,565	15,063
尾張北東部	44,830	129,668	2,590
瀬戸市	4,522	13,276	395
春日井市	7,694	24,530	593
犬山市	4,878	12,309	192
江南市	1,426	4,321	152
小牧市	14,574	38,140	583
尾張旭市	1,200	3,918	79
岩倉市	700	2,274	58
豊明市	1,896	5,892	139
日進市	1,110	4,298	80
長久手市	201	713	18
東郷町	1,785	4,466	117
大口町	4,462	13,680	116
扶桑町	382	1,851	68

出典：経済産業省「工業統計調査」（2020年）

（4）商業

尾張北東部地区の2015年の小売業販売額は1兆1,281億円であり、県内シェアは13.3%となっています。また、顧客吸引力指数\*は0.83となっています。

市町別に見ると、小売業販売額は、春日井市が2,867億円、次いで小牧市が1,815億円と多くなっています。また、顧客吸引力指数は、長久手市（1.40）、小牧市（1.08）、大口町（1.00）が、1.00以上となっています。

■小売業販売額（2015年）

	小売業販売額（億円）	顧客吸引力指数
尾張北東部	11,281	0.83
春日井市	2,867	0.83
犬山市	416	0.50
江南市	787	0.71
小牧市	1,815	1.08
岩倉市	334	0.62
大口町	265	1.00
扶桑町	360	0.94
瀬戸市	981	0.67
尾張旭市	744	0.81
豊明市	509	0.65
日進市	941	0.94
長久手市	918	1.40
東郷町	345	0.71

\*顧客吸引力指数：各市町村の人口1人当たりの小売業販売額を県の1人当たりの小売業販売額で除したものの、指数が1.00以上の場合は、買物客を外部から引き付け、1.00未満の場合は、外部に流出していることを示す。

出典：経済産業省「商業統計」（2016年）、愛知県「あいちの人口」（2016年）から愛知県政策企画局作成

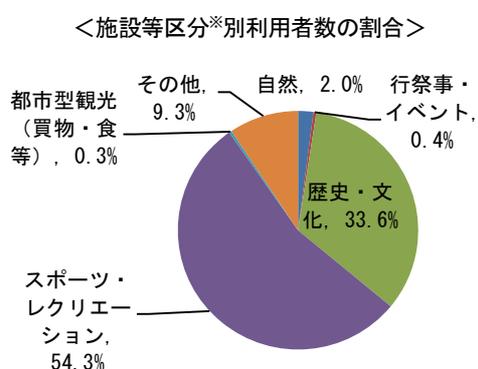
## 7 観光

尾張北東部地区の2021年の観光資源利用者数を区分別に見ると、「スポーツ・レクリエーション」が54.3%で最も割合が多く、次いで「歴史・文化」が33.6%となっています。利用者数上位の観光資源は、愛・地球博記念公園（年間1,006,400人：長久手市）、国営木曾三川公園フラワーパーク江南（年間993,786人：江南市）、成田山名古屋別院（年間976,700人：犬山市）などとなっています。

また、当地区は、国宝犬山城をはじめとする歴史遺産や街並み、明治村などの特色あるテーマパーク、日本六古窯の一つである瀬戸焼などの産業観光資源なども有しています。

さらに、当地区においては、2022年11月1日、愛・地球博記念公園（長久手市）にジブリパークが開園しました。

### ■観光レクリエーション利用者統計（2021年）



※観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」と同様の区分

＜観光資源（利用者数上位10位）＞ (人)

順位	観光資源名	市町村	利用者数
1	愛・地球博記念公園	長久手市	1,006,400
2	国営木曾三川公園フラワーパーク江南	江南市	993,786
3	成田山名古屋別院	犬山市	976,700
4	愛知県森林公園	尾張旭市	969,105
5	大縣神社	犬山市	570,000
6	道の駅 瀬戸しなの	瀬戸市	561,700
7	博物館明治村	犬山市	365,540
8	リトルワールド	犬山市	311,107
9	犬山城	犬山市	288,940
10	日本モンキーパーク	犬山市	276,875

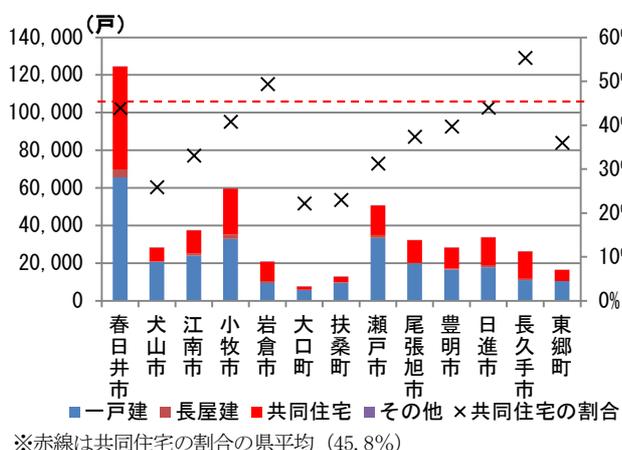
出典：愛知県「観光レクリエーション利用者統計」（2021年）

## 8 住宅

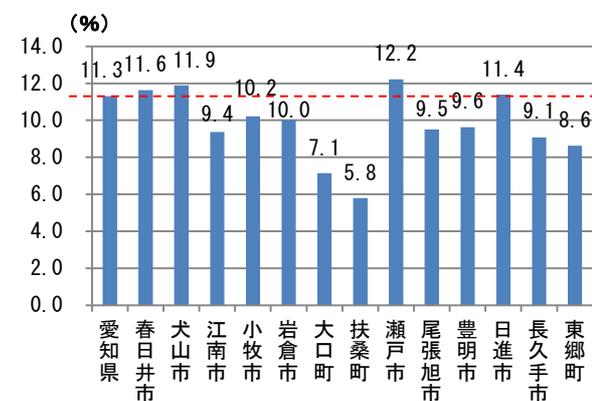
尾張北東部地区の2018年の住宅総数（居住世帯なしの住宅を除く）を市町別に見ると、春日井市が124,470戸で最も多く、次いで、小牧市が59,630戸、瀬戸市が50,790戸となっています。また、共同住宅の住宅総数に占める割合は、長久手市（55.3%）、岩倉市（49.4%）で県平均（45.8%）を上回っています。

空き家率を見ると、瀬戸市（12.2%）、犬山市（11.9%）、春日井市（11.6%）、日進市（11.4%）では、県平均（11.3%）を上回っています。

### ■住宅総数（2018年）



### ■空き家率（2018年）



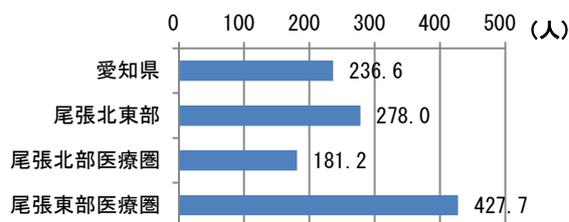
※住宅・土地統計調査では、人口15,000人未満の町村の調査結果が公表されていない。

出典：総務省「住宅・土地統計調査」（2018年）

## 9 医療・福祉

尾張北東部地区の2020年の人口10万人当たりの医師数は278.0人であり、県平均(236.6人)を上回っています。二次医療圏別に見ると、尾張北部医療圏181.2人、尾張東部医療圏427.7人となっています。

■人口10万人当たり医師数（2020年）

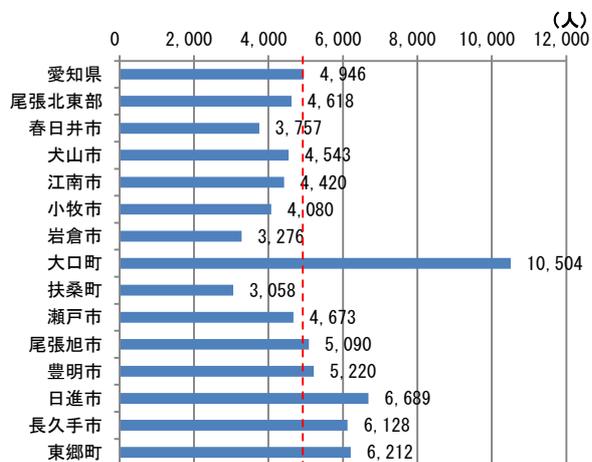


出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」（2020年）、総務省「国勢調査」（2020年）から愛知県政策企画局作成

高齢者向け施設について、2020年の65歳以上人口10万人当たりの定員数は4,618人となっており、県平均(4,946人)を下回っています。市町別に見ると、大口町、日進市などが県平均を大きく上回る一方、岩倉市、扶桑町などは大きく下回っています。

また、2022年の保育所の定員充足率（利用児童数÷定員）は80.9%となっており、県平均(82.0%)をやや下回っています。

■高齢者向け施設定員数（65歳以上人口10万人当たり）（2020年）

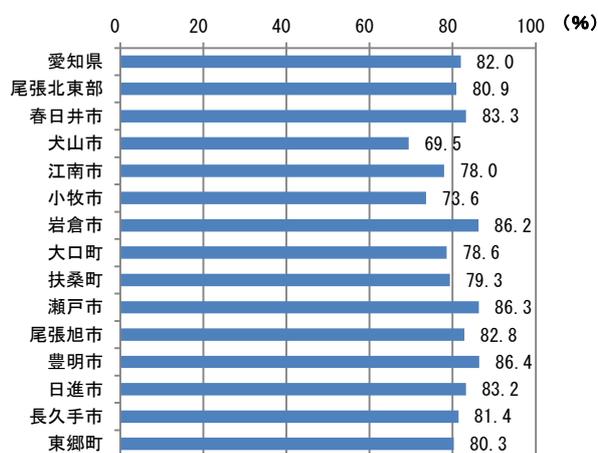


※赤線は県平均（4,946人／10万人）

※高齢者向け施設定員数：養護老人ホーム（一般）、（盲）、軽費老人ホーム（A型）、（B型）、（ケアハウス）、有料老人ホーム、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の定員数

出典：厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」（2022年）、「社会福祉施設等調査」（2020年）、「介護サービス施設・事業所調査」（2020年）、総務省「国勢調査」（2020年）から愛知県政策企画局作成

■保育所充足率（2022年）



## 【尾張北東部地区における県の主な取組】

当地区は、大学や研究機関が多く集積する本県を代表する学術研究開発ゾーンであることを生かした研究開発機能の強化や次世代産業の振興、ジブリパークを活用した地域の魅力の創造・発信などに取り組んでいます。

### （学術研究開発機能の強化・次世代産業の振興、農業の生産力強化）

あいち産業科学技術総合センターやあいちシンクロトン光センターからなる知の拠点あいちでは、新技術や新産業の創出を促進するため、研究開発の推進、産業利用の積極的推進、重点研究プロジェクトを実施しています。

また、航空宇宙産業については、「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」に基づく規制の特定措置、税制・財政・金融上の支援措置の活用と合わせて、産業空洞化対策減税基金を活用した企業立地に対する支援や、企業が行う研究開発や実証実験に対する支援などにより、航空宇宙産業分野の企業の集積や航空機生産機能の拡大と強化に取り組んでいます。

さらに、名古屋コーチンの生産体制の強化に向け、愛知県畜産総合センター種鶏場を小牧市に移転整備することにより、名古屋コーチンの供給量増加や業界の活性化を図ることとしています。

また、STATION Ai プロジェクトの一環であいち農業イノベーションプロジェクトを実施し、県農業総合試験場が中核となり、スタートアップ等と共同で農業分野におけるイノベーション創出を推進しています。



あいち農業イノベーションプロジェクト（採択プロジェクト）

### （地域の魅力の創造・発信）

愛・地球博記念公園では「ジブリの大倉庫」、「青春の丘」、「どんどこ森」のジブリパーク3エリアが開園しました。2023年度には「もののけの里」と「魔女の谷」の2つのエリアが続いてオープンする予定であり、国内外からの多くの集客が期待されます。ジブリパーク来園者を同パークへの来園だけに完結させないよう、周辺地域の活性化や、周遊観光の促進に取り組んでいます。

また、国宝犬山城をはじめとした歴史文化や、地場産業の陶磁文化、さらには、愛・地

球博記念公園等の文化・レクリエーション施設など、地域の多様な魅力の創造・発信に取り組んでいます。



ジブリの大倉庫

© Studio Ghibli



愛知県観光動画「風になって、遊ぼう。」特設サイト

### （障害のある人の生活・教育環境の整備）

1968年に春日井市内に設置された、心身の発達に障害のある人のための総合的な福祉施設である心身障害者コロニーを再編整備し、発達障害を含む障害児者医療・療育の拠点となる医療療育総合センターを2019年に開所したほか、春日台特別支援学校の教室不足解消のため、瀬戸つばき特別支援学校を2019年4月に開校するとともに、一宮東特別支援学校の過大化による教室不足の解消を図るため、肢体不自由の小牧特別支援学校敷地内に知的障害の児童生徒に対応する校舎の増築を進めています。



医療療育総合センター

**（産業や暮らしを支える基盤整備）**

ジブリパークの開園に伴い、周辺の交通集中が想定される名古屋東部丘陵地域において、交通渋滞対策として、交差点における左折車線の追加や右左折車線の延伸工事を実施しました。さらなる地域住民及び来訪者の円滑かつ効率的な移動をめざし、M a a Sの導入に向けた実証実験を推進しています。

また、ジブリパークの開園等沿線地域をとりまく状況の変化を踏まえ、県や沿線市をはじめとした多様な主体が取り組むべき新たな指針として「リニモ沿線地域づくり重点プラン2021-2025」を策定し、各種取組を行っていくこととしています。

地域内交通の円滑化に向け、都市計画道路の名古屋岡崎線や名古屋江南線、瀬戸大府東海線などの整備を進めるとともに、地域の主要渋滞箇所の緩和・解消を進めるため、国道41号の6車線化、国道155号布袋拡幅などの整備を進めています。



国道155号布袋拡幅

M a a Sの社会実装に向けた2022年度実証実験  
 ～おでかけをもっと便利に、楽しく マイルートで。～